

軍令部長

副官

村松

齋

参事官

發行

月日

大臣

次官



四十年五月廿六日

軍務局長

代



局員



經理局長



主任局





四十年十二月



附圖寫取ノ上返却ノ事

次官

海軍

52 992

參事官

發行

月日

千九百零六年

軍務局長代

局長

經理局長

經理局長

閣下取上取新

次官

海軍

992

Handwritten text on a vertical slip of paper, likely a receipt or record, containing several lines of cursive Japanese characters.

0993

海軍大臣

横領第一九八四號ノ三

明治四十一年十二月三日

横須賀鎮守府司令長官 男爵上村彦之丞

海軍大臣 男爵 齋藤 實殿

海軍大臣 齋藤 實殿

三浦郡浦郷村長浦字西ノ浦浜地先
一海面參十五拾六坪(二二〇)

前記海面神奈川縣廳ヨリ 本年十月十六日

右御届ス

陸軍局

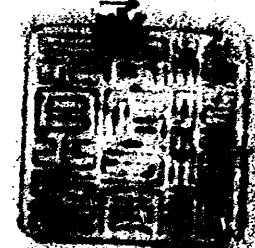
軍務局

供

第二

海軍

終



陸軍省
海軍省
陸軍部
海軍部

0995

起案紙第一號

明治三十九年九月廿九日起案

十月二日發

主務 經理局長

主任局

大臣

次官

參事官

副官



明治四十一年十月二日

海軍大臣

海軍省 海軍大臣 閣下 謹啓

發給 官房第三七〇二號

海軍

0996

栢鎮一之七号、高麗立海軍用
地編入、内路者、協議済、付
該海面受領、上届出、
但埋築完成、其方、應通知ス

右刻左ス

内務省海甲第七七號

本年九月十七日官房第三七〇二

福一ノ二ツ以テ海面埋立

ニ付ニ付法照台ニニ類

ノ子者ハ異存多ク其

ニ付法亦意ニ通り取計

ヲ案此及及回答ニ付也

明治甲午九月廿六日

内務大臣島田重良

海軍大臣島田重良

官房第三七〇二號ノ三



九月二十九日

0998

起案紙第一號

明治三十四年九月十七日起案

九月十七日發行

發行後紙
宗者捺印

主務 總理局長

主任局員

大臣

次官

參事官

副官

軍務局長

守局 兼印

大南

田

軍令部長

次長

第二班

明治三十四年九月十七日

海軍大臣

海軍大臣

海軍大臣

發給
官房第三七〇二號

海軍

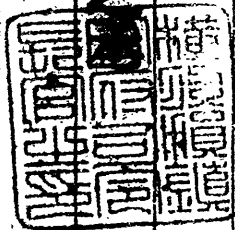
1000

9-12-13

嶺鎮第一三六七番

明治四十一年九月八日

橫須賀鎮守府司令長官 男爵上村彦之



海軍大臣 男爵 齋藤 實殿

海面埋築並海軍省用地ニ編入

相成度義ニ付上申

三浦郡浦郷村長浦字西浦濱海面々坪叁

千五拾六坪(式式)別紙實測圖之通埋築

必要有之地方聽照會候處別紙之通

差支ナキ旨回答ヲ得候条海軍省用地ニ編

入相成候様致度尤諒海面既ニ全所開

官房第三七〇二號

主務局

經理局

鑿捨土塊ヲ以テ概略埋了致候

右
上申ス

別紙實測圖吉葉附近圖吉葉實測
面坪計算表吉葉通神奈川縣知事
回
答書寫吉葉添付ス

終

番号	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ
底	一五〇	三二〇	三二〇	三二〇	三二〇	三二〇	一三五	三二六	一三〇	四六八
邊	同	七〇	六五	八〇	二二	七〇	四二	四二	三八	二〇
重	同	六〇	七〇	六五	八〇	二二	七〇	四二	四二	二〇
線	同	六〇	七〇	六五	八〇	二二	七〇	四二	四二	二〇
面	同	四〇	五〇	四〇	五〇	四〇	五〇	四〇	五〇	四〇
坪	同	四〇	五〇	四〇	五〇	四〇	五〇	四〇	五〇	四〇
積	同	四〇	五〇	四〇	五〇	四〇	五〇	四〇	五〇	四〇

三浦郡南郷村長崎字西浦浜埋米見込地實測面積計算表

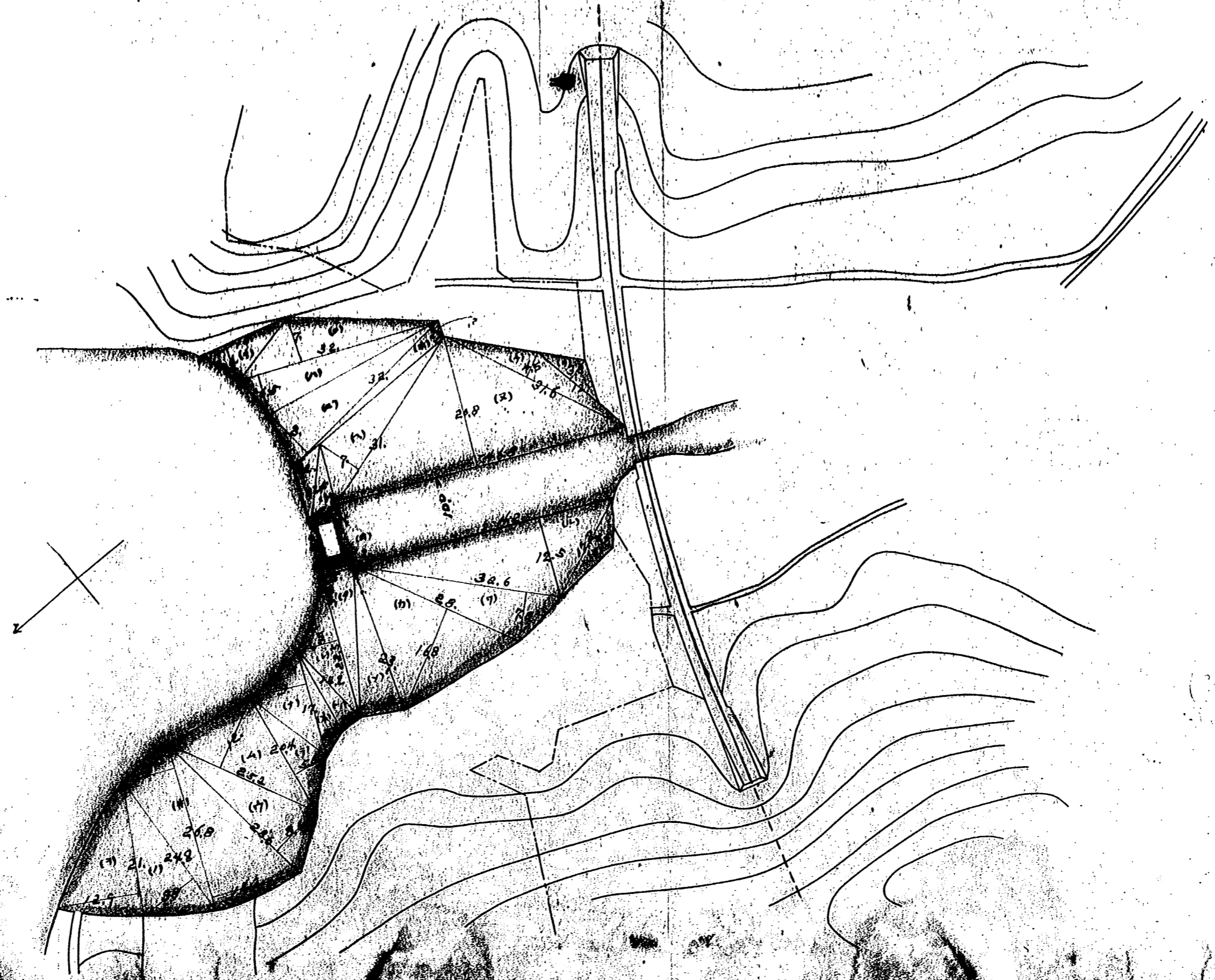
伊藤

伊藤

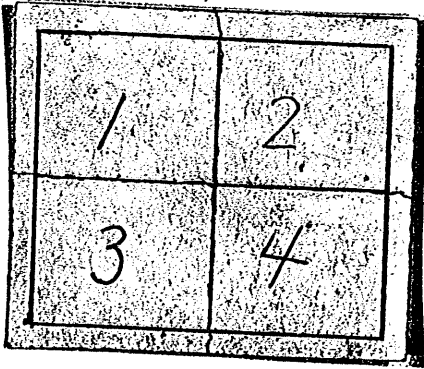
ム	ラ	ナ	ネ	フ	リ	レ	タ	ヨ	カ	ク	ケ	ル	
二五二	二〇四	一七〇	一七〇	一四二	三三〇	二二五	二五〇	九八	二八〇	三二六	一七二	四二〇	
一二〇	五六	九〇	三五	三三	六八	六五	五〇	二〇	一六八	七八	三九	一二九	
● ✓ 一五 一三 二〇	● ✓ 五七 一三 二〇	● ✓ 七六 五〇 り	● ✓ 二九 七五 〇	● ✓ 二三 三四 三〇	● ✓ 七八 二〇 り	● ✓ 七三 三一 二五	● ✓ 六二 二五 〇	● ✓ 五八 〇 り	● ✓ 二五 五二 〇	● ✓ 二七 七一 四〇	● ✓ 三三 五四 〇	● ✓ 二六 二五 〇	● ✓ 二六 二五 〇

洋
算

三浦郡浦郷村長浦字西ノ浦濱埋集見込地實測高橋大台百々之一



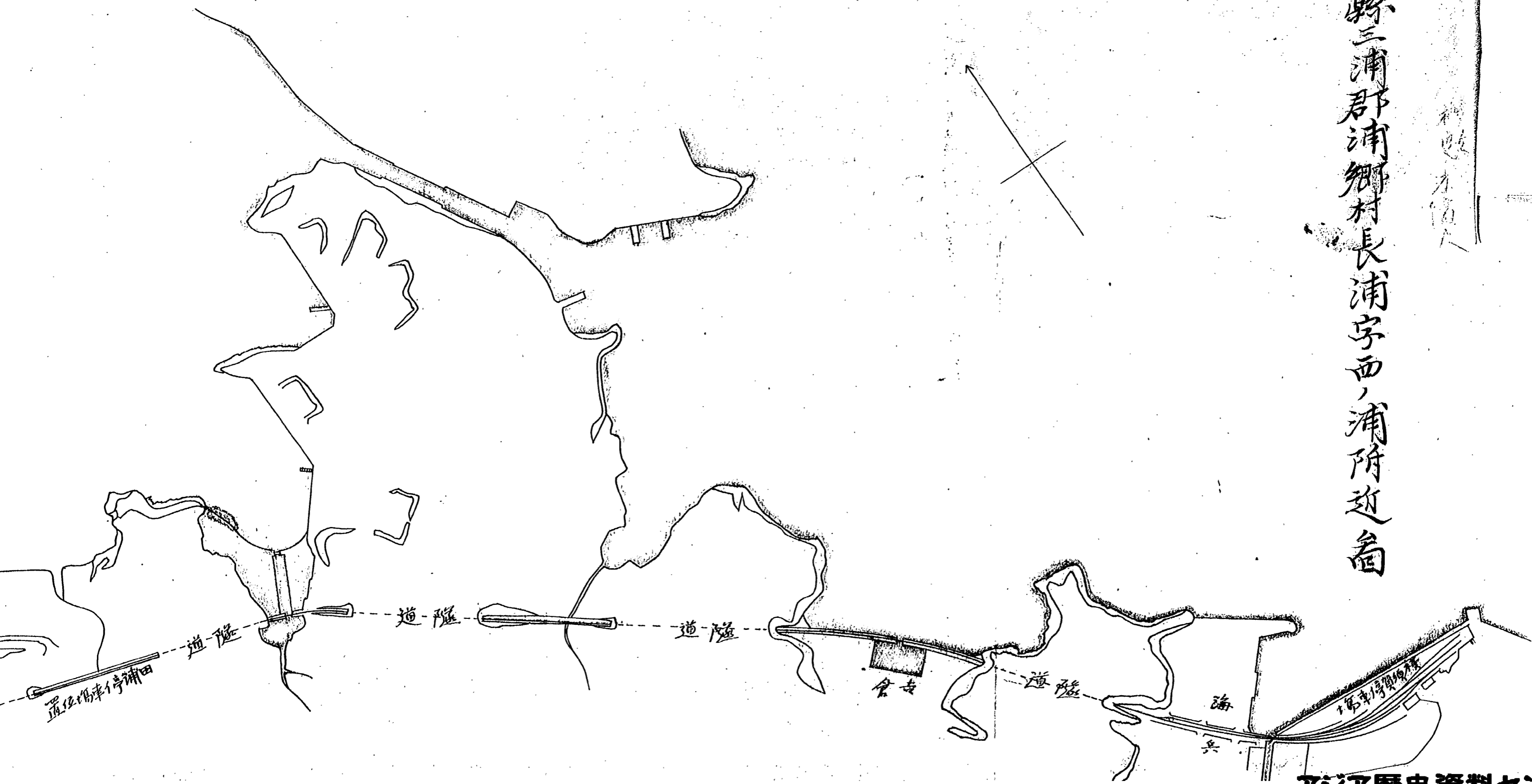
分割撮影ターゲット

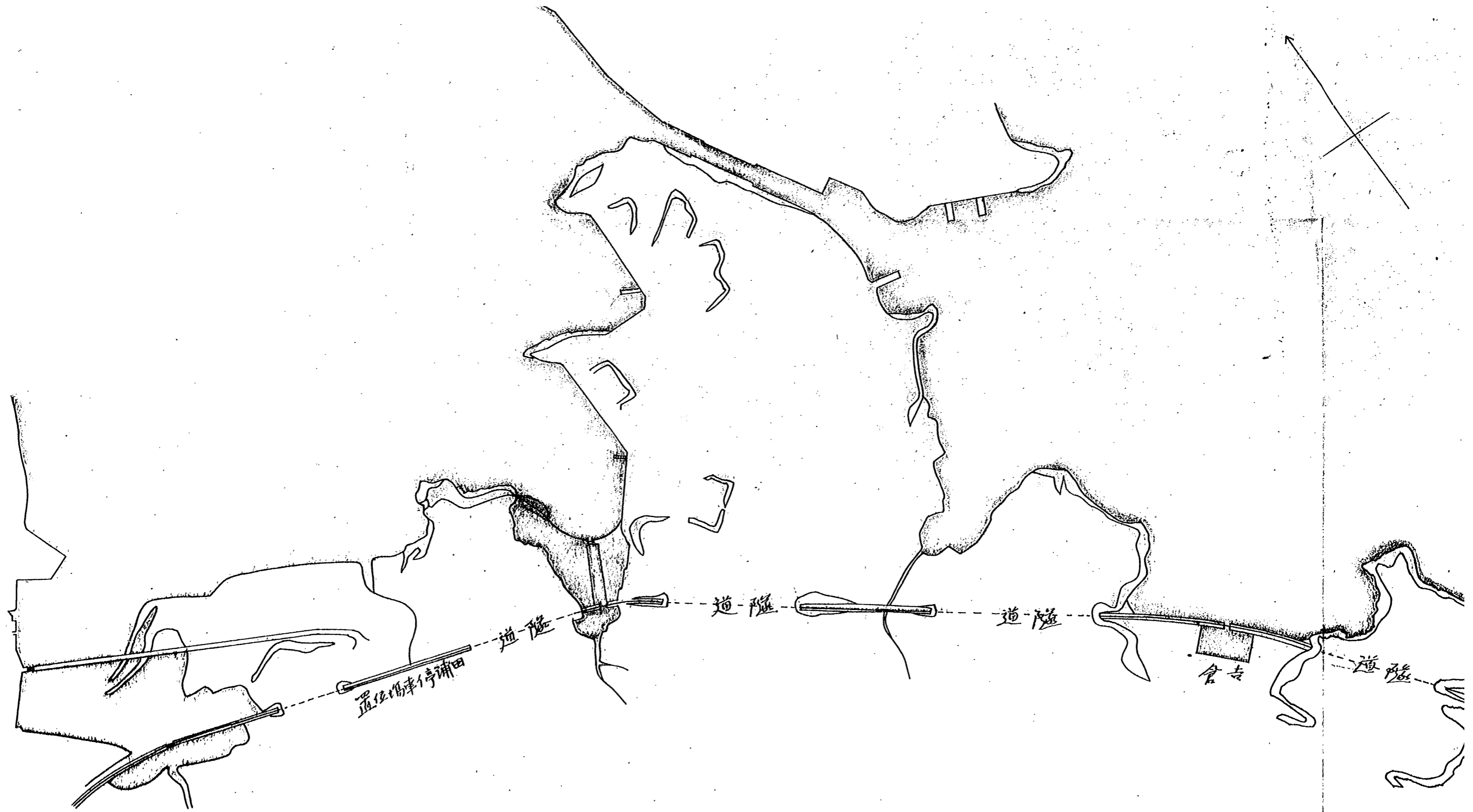
<p>分割した 部分の 撮影順序</p>	
<p>分割撮影 した理由</p>	<p>A 3 判 以 上 の た め</p>
<p>上記のとおり分割撮影した事を証明する。</p>	

1010
1011
1012
1013

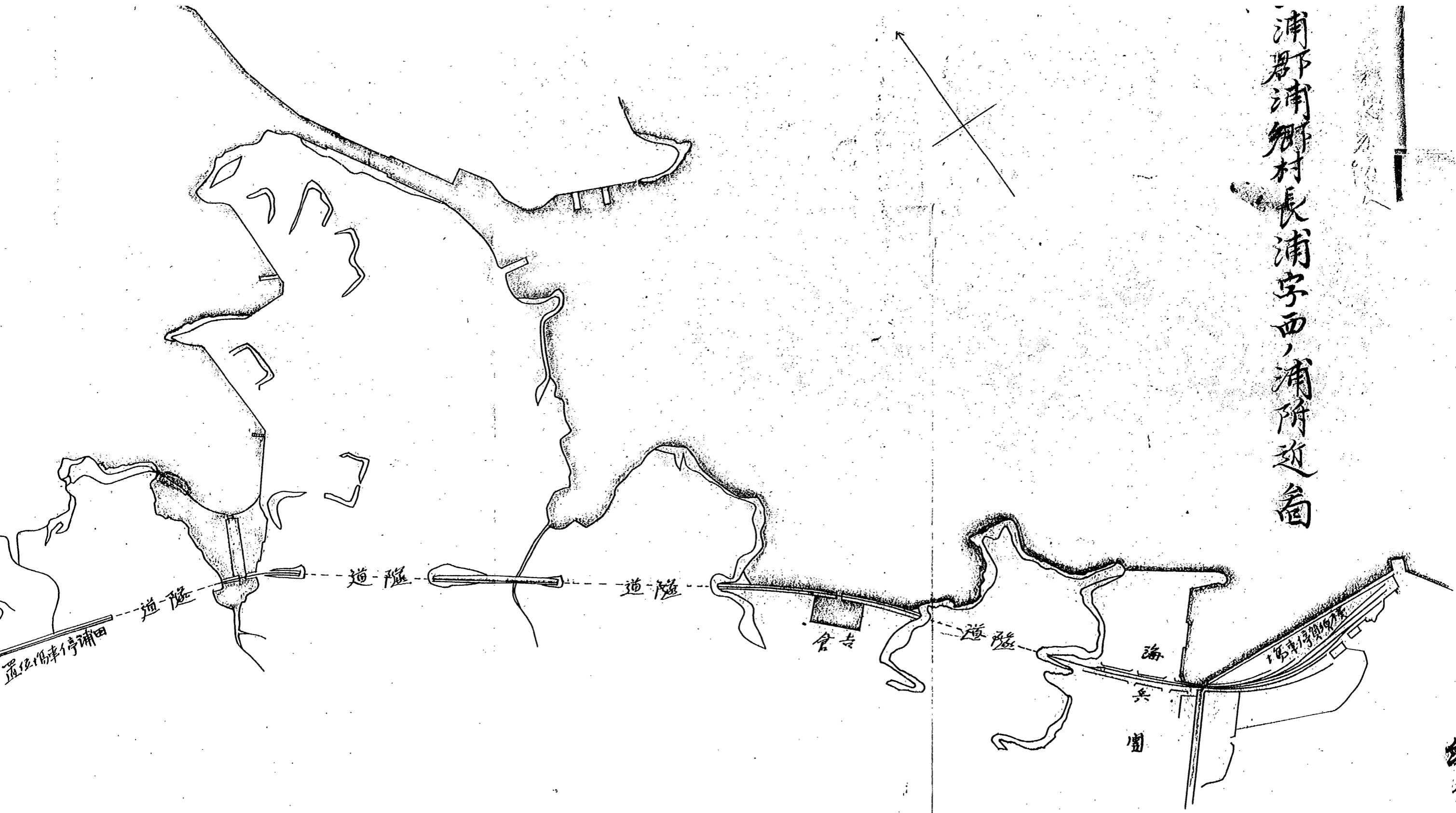


神奈川県三浦郡浦郷村長浦字西ノ浦附近畷





浦郡浦郷村長浦字西ノ浦附近圖



縮尺五千二百分之二

起案紙第一號

明治四十一年五月

起案

北條

小松

吉野

日發

梅

松

松

小松

(主務)

軍務局長

局員

小松

小松

小松

小松

小松

小松

小松

大臣

次官

參事官

副官

局員

小松

小松

小松

小松

小松

小松

小松

經理局長

局員

小松

小松

小松

小松

小松

小松

小松

軍令部長

次長

第二班

山

島

島

島

島

島

島

島

(附圖軍取上返事)

明治四十一年十二月八日

次官

功務次官宛

海軍省 海軍大臣 功務次官宛

海軍省 功務次官宛

1014

9/12

11-2

神奈川縣下松原港馴厚堤和船厚
口取擴方一件藏甲才三三三三
照會趣了義右、當省、管上差支無之候
右回答ス

(終)



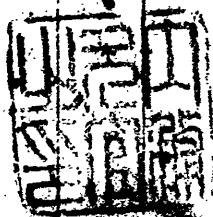
内務省藏甲第三三三號ノ内

了証

神奈川及び横濱港航運提船舶
通リ口ヲ云拾写ニ取據方(圓面)通
リノ件ニ付大務省ヨリ照会存
在条貴省有法意見承知該方抄取
及照会云々

明治四十一年十一月廿日

内務次官一木嘉次郎



海軍次官加藤友三郎殿

軍艦山手丸
横須賀鎮守府へ協議迄

十五(官)

十五

1910.11.24-5

附圖

四十一

3

辨ノ内

八横濱港馴導堤船舶
拾四ノ取擴方(圓面)面
大庭省ヲ照會有之
以意見承知致度抄紙

一年十一月廿日

力次官一木松治郎



加藤友三郎殿

横須賀鎮守府へ協議迄

十五(官)

十五

1016 11-24-5

附圖参照

五十二年十一月廿日

本件先以テ御意見承知致度
軍令部御中 軍務局

小林

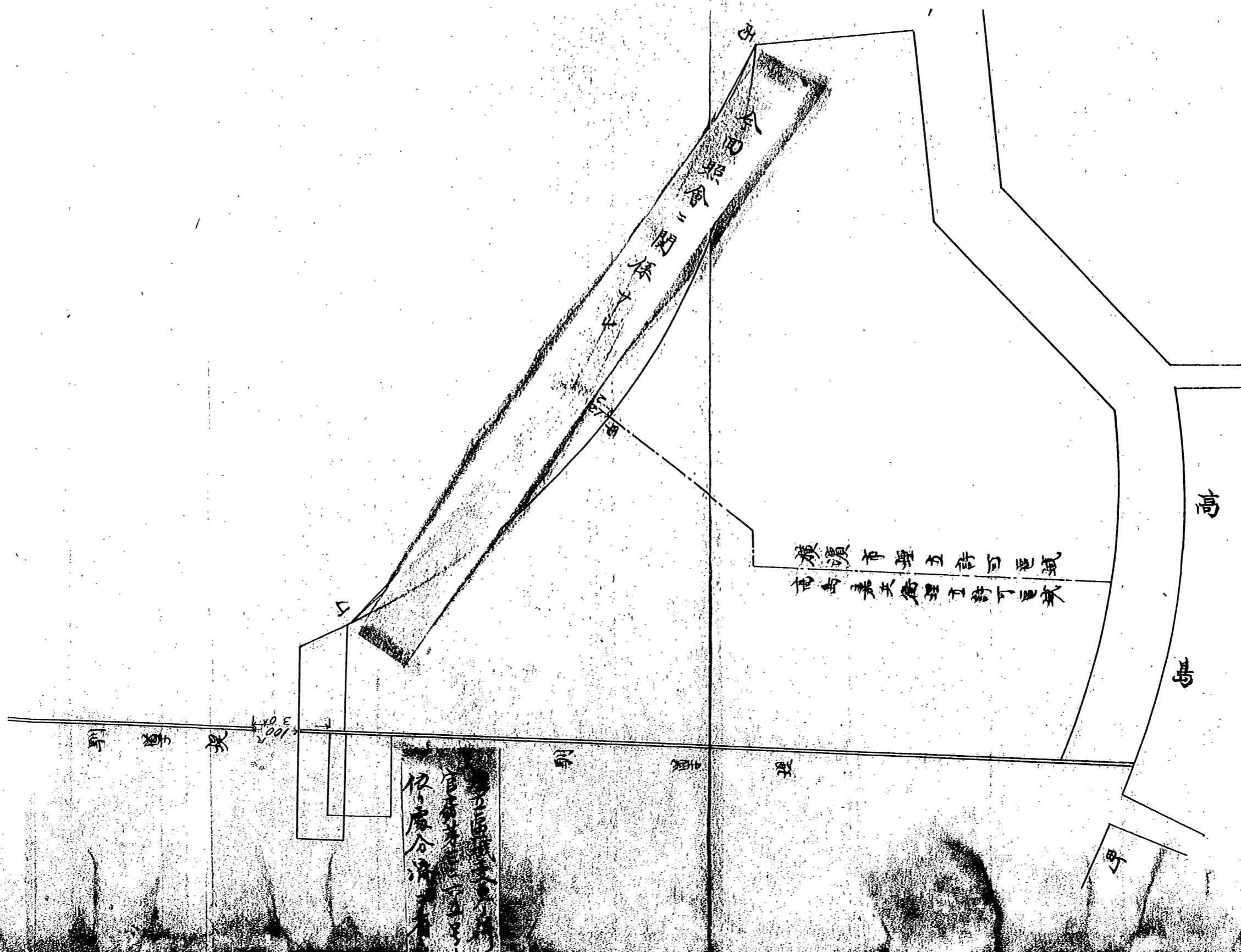
三友支下



1017

ニ有るは又本件ハ予事施り上至意
シ要シは類ニ付速ニ法回答ル年
様法度妙有申添ル如

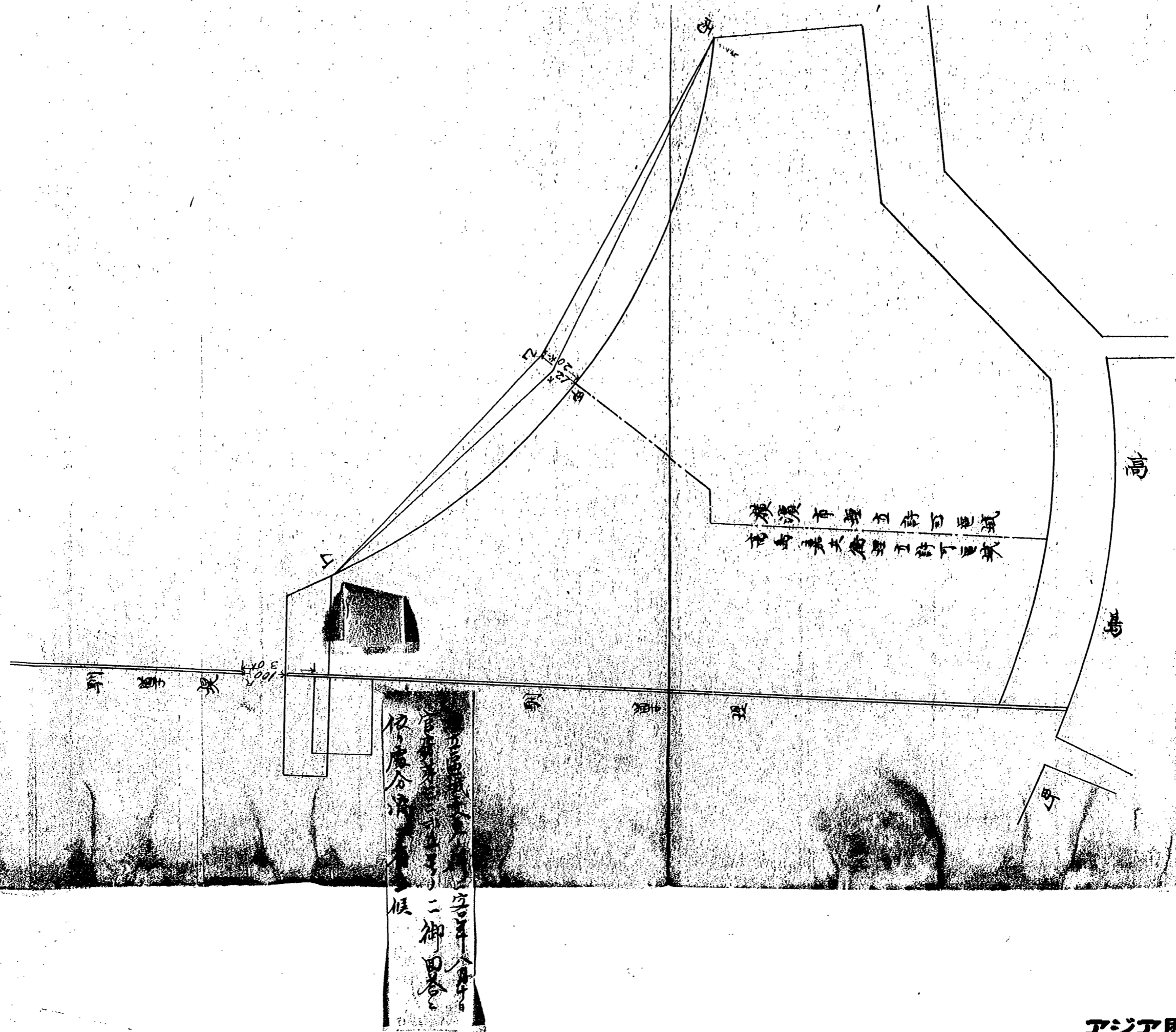
官守田古五九号附圖



官守田古五九号附圖
 依原合清
 依原合清
 依原合清

1019
 1020

富子四古並九号附圖



1019
1020

起案紙第一號

明治四十一年三月三日
起案
印
小林
土月八日
發付
後起
印
小林

(主務) 軍務局長



大臣

副官

次官

參事官

經理局長

軍令部長

次長

第二班

(附圖軍取上返却事)

明治四十一年十二月八日
次官

力務次官宛

海面埋去件

發送
官房第四七七二號三

海軍

1021

件

12

三
重

三重縣志卷之七 郡の矢村地先海面埋立

件三甲力一七縣内

照會、趣了、兼右、當省、事管上、差支、無之候

右回答又

終

了課

内務省三甲第一八七號ノ内

海面埋立ノ件

一箇所 三重縣志摩郡的矢村地

先

一海面 反別産所産及三畝三歩七(圓面ヨリ)

一目的 宅地

一期限 明治卅三年八月マテ

一出願者 竹内兼之助

一命令條件 必要アルトキハ何時ニテモ

許可ヲ取消シ得ルノ規定

アリ

所及鎮守府へ協議済

管長御意見 承知致度以段

十三

七號ノ内

立ノ件

皇孫志摩親の矢村地

別産所産及三畝三歩七合(園圃ノ内)

地

治平三年八月マテ

内条之助

要アルトキハ何時ニテモ

取消之由ルノ規定

向ハ協議満

心見水初段度此段

十三

1023

此圖無

本件先以テ御意見承知致度

是年七月乙日

軍令部御中

軍務局

小村

三石

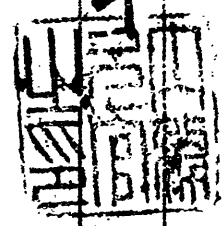
1024

及照會惟也

明治四十一年十二月一日

内務次官一木喜徳郎

海軍次官加藤友三郎殿



官房四七七二号附圖

志摩郡的木村大字渡康野

海防第一三號 抄寫

埋立地



1026

起案紙第一號

明治四十一年三月三日 起案
小村
三月八日 發行
小村
發付後批
小村
案者捺印

(主務) 軍務局長
局員

大臣

次官

參事官

副官

經理局長

先
軍令部

次長

第二班

(附圖軍取上返却事)

明治四十一年十二月八日 次官

事務次官宛

海面埋骨件

官房第四七七三號

海防

海軍

1027

件

12

能本縣守上取三角町地先海面埋立
能甲卯方三號内
照會趣了義右公當省書管上差支無之候
右回答ス

(終)

内務省熊軍第六三號の内

海面埋立ノ件

一箇 海面埋立ノ件

一(一) 海面 反別三反四畝二十九步

一(口) 全 三反五畝廿五步(圓面ノ面)

一(ハ) 全 二反四畝八步

一目的 (一) 宅地 (口) 耕地 (ハ) 船渠及鑛場

一期限 (一) 陸上ノ年百 (口) 武上ノ年百 (ハ) 陸上ノ年百

一出発者 (一) 阿曾田平助外四名

一(口) 海田芳太郎 (ハ) 浦本末長

一命令條件 必要アルトキハ何時ニテモ

ニテ命令ノ條項ヲ増減者更ニ又

停止シ若クハ禁止シタルノ規

第四号 停止

二辨内

一埋立ノ件

熊本町宇土郡三角町地先
反別 三反四畝二十九步

三反五畝廿五步 (圓面ノ面)

二反四畝八步

(1) 宅地 (1) 耕地 (1) 船渠及鎌工場

(1) 倉庫 (1) 武庫 (1) 拾遺ノ倉

(1) 阿曾田平造外四名

右左郎 (1) 浦本末長

必要アルトキハ何時ニテモ 森實

條項ヲ増減者更シ又ハ

止シ若クハ禁止シタルノ規定

十三

三

1029

阿曾田平造

呈

年十一月二日

軍務局

軍令部御中

本件先以テ御意見承知致度

阿曾田平造

1030

アリ

新原鎮守府へ協議函

右省法意見承出請官抄及照

合抄

明治四十一年十二月一日

内務次官一木正雄



海軍次官加藤友三郎殿

官房四七七三号附圖

熊本縣宇土郡三浦町 大學三浦浦守瀬ノ
大學波里宇馬崎地老海面埋子地類地位置圖
大學今事高之崎

海圖第一九四三番號圖



尺 縮
1 : 12,128

埋立之願其域

1032

起案紙第一號

明治四十一年十二月九日

起案

小徑

士

發付

發付後起

案者捺印

小林

(上務)

軍務局長

局長

局員

印

小林

大臣

次官

印

參事官

副官

印

印

軍令部

次長

印

第二班

經理局長

印

印

印

印

印

(附圖取返却事)

明治四十一年十二月十日

次官

事務次官宛

海面埋骨件

管房第四八三八號之三

海軍

1033

12-11-3

件

12-9

一 度 見 ぬ 魚 類 中 亦 有 町 地 先 由 西 性
立 件 廣 甲 芥 一 五 〇 辨 内 一 一 一

照 會 趣 了 議 右 公 當 省 主 管 上 差 支 無 之 候

右 回 答 不

(終)

大體課
閱了

内務省廣申第一五八號内

海面埋立ノ件

箇所 廣島縣廣島市宇品所地

先

海面 及別壹町八反貳拾五歩 (一箇面ノ身)

目的 宅地

期限 二ノ年間

出願者 井上肇外壹名

命令條件 必要ナルトキハ何時ニテモ其償ニシテ

命令ノ條項ヲ増減セズ更ニ又ハ埋立工率

ヲ停止シ若クハ其禁止ニ得ルノ規定アリ

所管鑛守存ノ協議済

官署西邊三ノ御意見 水知致度此段

官署

十三八

1035

附

五八號内

埋立ノ件

魚島孫廣島市宇呂町地

一割壹町八反貳拾五歩 一箇面ノ通リ

七地

丁年間

上陸軍外壹名

要了九トキハ何時ニテモ無償ニシテ

一頃ヲ増減亦変更之又ハ埋立工事

ハクハ禁止之得ルノ規定アリ

存ノ協議

心見水知致度此段

五八
十三

1035

附圖ニ照

呈
年五月八日

軍令部御中

本件先以テ御意見承知致度

軍務局

呈
五八



1036

内務省

及照會狀也

明治四十一年十二月七日

内務次官一木喜徳



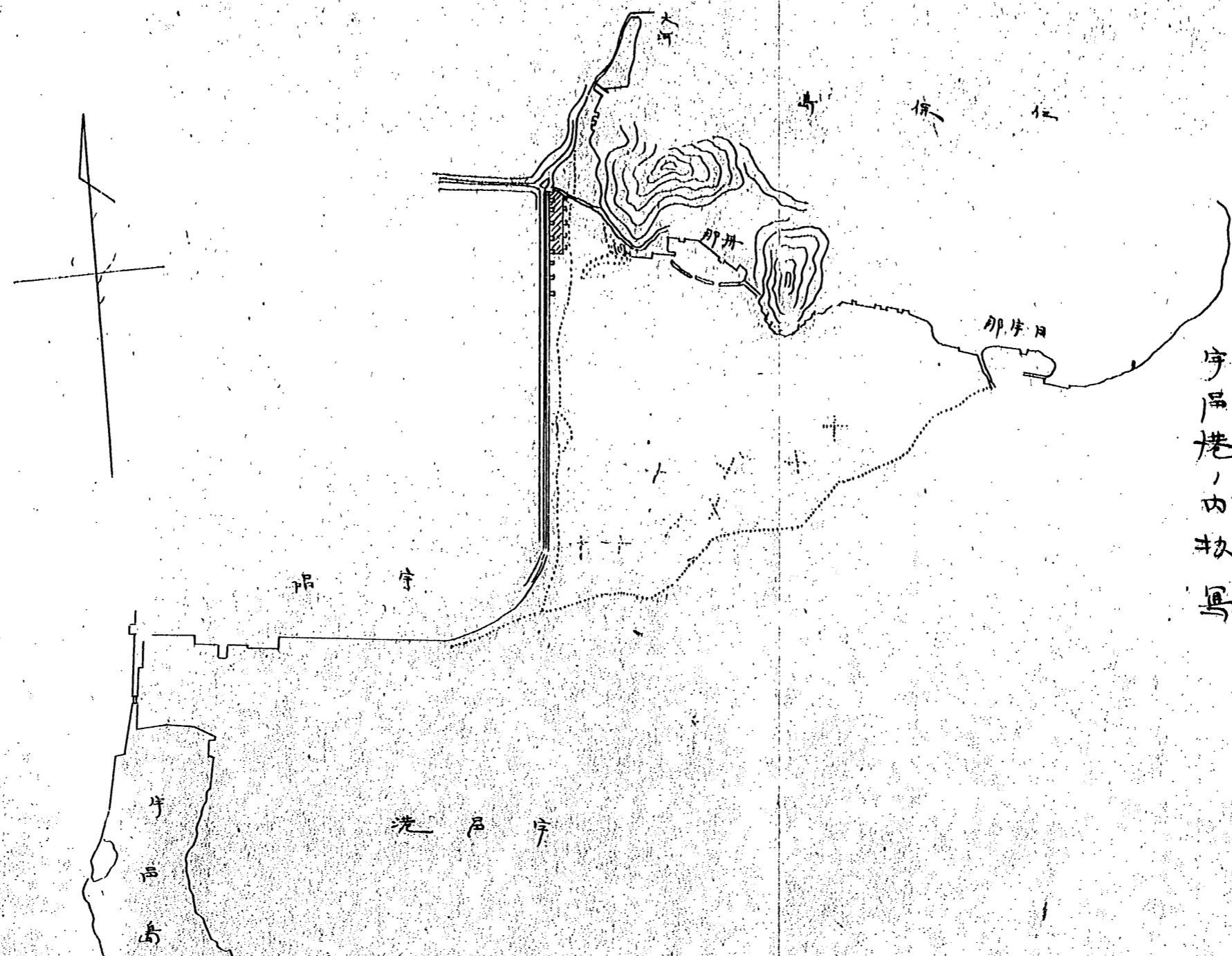
海軍次官松本三良殿

1037

寛政四十八年子附圖

水路部築川葉百七十九号海圖

宇治港内物置



起案紙第一號

明治四十一年五月五日起案
五月十二日發符
發符後起案者捺印
小村

(主務) 軍務局長

局員

大臣

副官

次官

參事官

經理局長

主任局員

軍令部長

次長

第二班

(附圖字取上返却事)

明治四十一年五月十二日 次官

内務次官宛

海面埋立、件

發管房第四九二七號ノ二

海軍

1039 72-19-3 件

12-15
小村

沼澤縣溫泉郡恒生村大字西恒
生地先海面埋立件媛甲第一昆舞内
照會、趣了美右八當省主管上差支無之候
右田答入

(終)

内務省媛甲第一〇九號の

海面埋立ノ件

一箇 所 愛媛品温泉郡恒生村大字

西垣生地先

一海面 八所九反七畝廿三歩八合九勺(圖面ノ面)

一目的 田

一期 限 五ヶ年

一出願者 忽那栄左

一命令條件 必要アルトキハ 何時ニテモ命令ノ

條項ヲ増減変更シ又ハ埋立ノ事ヲ停止

シ若クハ許可ヲ取消シ得ルノ規定アリ

所管鎮守府へ協議満

官房長官御意見 承知致度以段

三五五

九號白

陸立ノ件

暖品温泉郡恒歩村大字

之

九及七畝廿三歩八合九勺(國面あり)

年

那榮左

のアルトキハ何時ニテモ命令ノ

表更シ又ハ埋立ノ事ヲ停止

取消シ得ルノ規定アリ

ハ協議論

見取知致度此段

吉五
十三日

1041

12-15-9

附屬文

本件先以テ御意見承知致度

星 年十二月五日

軍令部御中

軍務局

星 年十二月五日



1042

及照會狀也

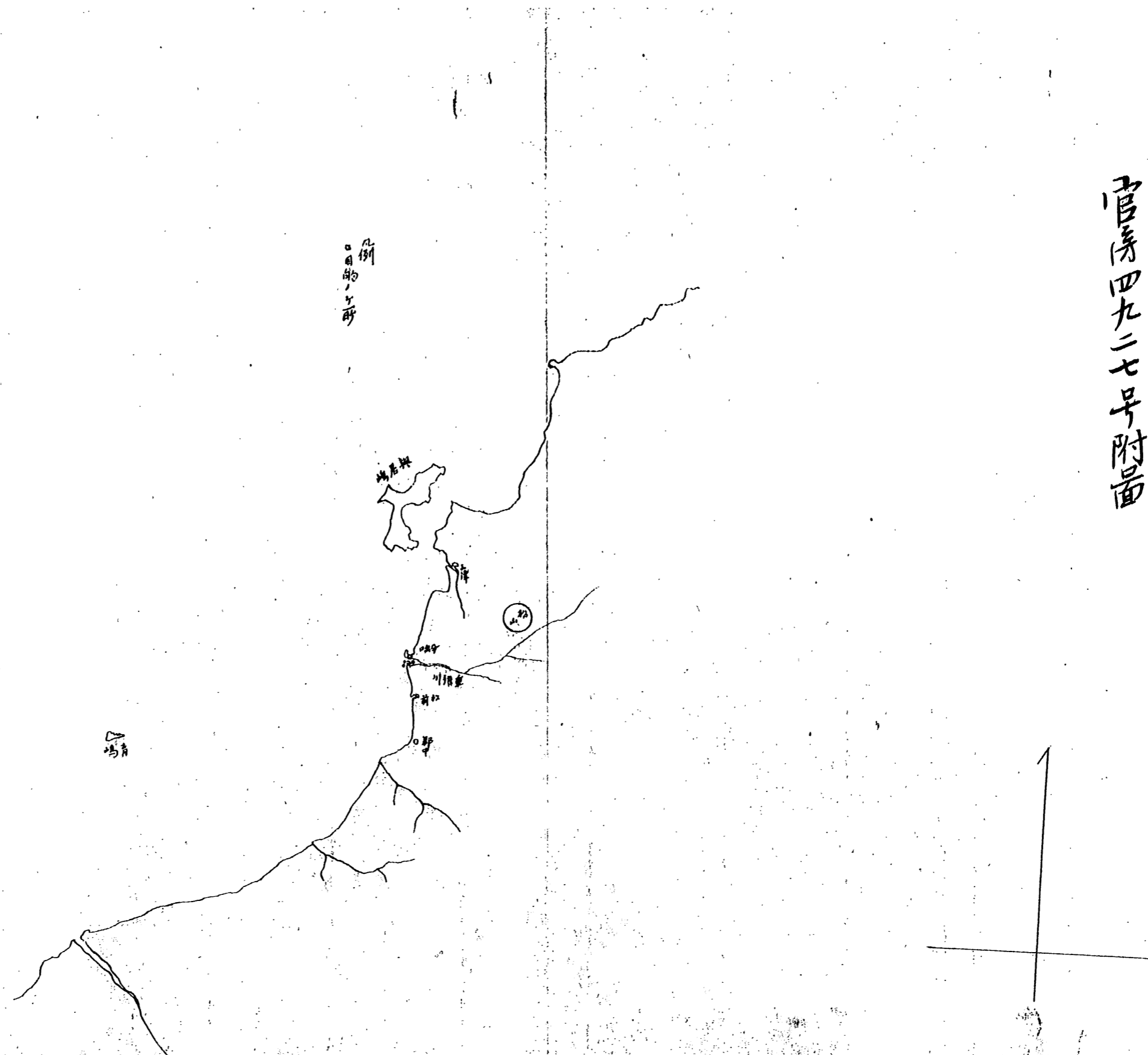
明治四十一年十二月十四日

内務次官一木喜徳郎



海軍次官加藤友三郎殿

官傍四九二七号附圖



水路部第五拾號